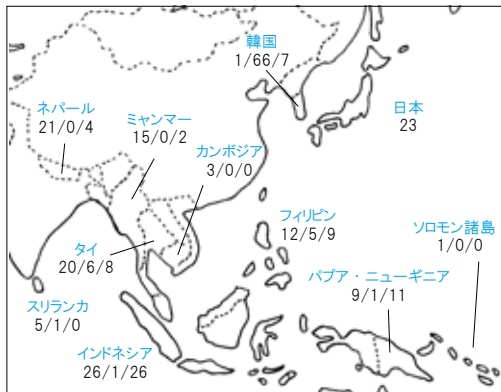


これまでに招いたのは **283人**

研修生113人 / 短期研修生80人 / ゲスト67人 / 国内研修生23人



PHD 協会は、1962 年から約 20 年間ネパールで医療活動に従事した岩村昇医師が自らの経験と反省をふまえ、「物」「金」中心の一次的援助を超えた草の根レベルの人材交流・育成を提唱し、1981 年に設立されました。

草の根の人々による村づくりへの協力

アジア・南太平洋の村の青年を研修生として日本に招き、農業、保健衛生、地域組織化などの研修を行い、帰国後もフォローアップを行うことを通じて、草の根の人々による村づくりと生活向上に協力します。

そこからわたしたちも行動する

日本の人々もアジア・南太平洋の人々との交流を通して学ぶことはたくさんあります。そこから、毎日の生活を問い直し、草の根の人々と共に生きることのできる生活を、足元から実践するための活動を続けています。

各地で第 32 期研修生が研修に励んでいます



ムク・マヤ・タマンさん

ネパール / 28 歳

研修テーマ 保健衛生、洋裁、協同組合、住民組織化
言語 タマン語、ネパール語
宗教 チベット仏教

昨年度のプレムさんと同じくカトマンズから車で 3 時間、そこから 1 時間歩いたところのカブレパンチョーク郡ピンタリ村出身。

家族は両親、夫、息子 2 人で、2 児の母として家庭を支えています。夫は仏教画の先生、ムクさんも仕立て屋で働いています。

村ではお母さんグループで活動しており、特に村で問題となっていたトランプや賭博、お酒の多売を規制し、破った場合は罰金を払うという制度を制定。女性の地位が高いとは言えない環境で強いリーダーシップを発揮しています。また保健衛生活動にも熱心で、ソエムセピカと呼ばれる村のお世話役として薬の配布等の手伝いもしています。

男性相手でも堂々と意見を言うムクさん。「男性から見下されて我慢するのはよくない」と女性の地位向上にも尽力しています。

サントウンワーさん

ミャンマー (ビルマ) / 22 歳

研修テーマ 有機農業、保健衛生、協同組合、住民組織化
言語 ビルマ語
宗教 上座部仏教 (テーラヴァーダ)

第 2 の都市マンダレーから車で約 1 時間離れた、人口約 2,700 人のタダインシェ村出身。5 人家族で 2 人の妹を持つ兄。

家族で農業を営み、米やほうれん草、玉ねぎなどの野菜の他、仏事に用いる菊やシキビを栽培しています。家畜は牛 2 頭に鶏約 50 羽を飼育。よって日本では牛糞や鶏糞を用いた有機肥料について勉強したいと考えています。また、お父さんはトウンティンさん(93 年度)から疎植栽培などを教わり、実践するなど、家族も PHD 協会の研修に深い理解があります。

大学を卒業してからは、村でお坊さんが運営する幼稚園と小学校で先生もしています。主に幼い子どもたちを担当しているので、日本で就学前教育や保育研修にも意欲をみせています。

メラティ・アフリダさん

インドネシア / 36 歳

研修テーマ 保健衛生、洋裁、協同組合、住民組織化
言語 ミナン語、インドネシア語
宗教 イスラム教

西スマトラ州ソロ郡タベ村出身。州都パダンからバスで 3 時間程内陸部に入った山村で、標高約 1,100m に位置しています。

タベ村のタバアテという生活環境が困難な地域に、夫、息子、娘と 4 人で暮らしています。ムクさんと同じく 2 児の母でありながら、2 年連続して研修生に立候補し見事合格した意欲あるお母さんです。

村ではカデルと呼ばれる村のボランティアワーカーを 05 年から務め、母子保健、家族計画、老人保健などの業務に従事しています。「今の自分があるのはミミさん(02 年度)のおかげ」と強い影響を受けており、「私は社会奉仕がしたい」と強く語るメラティさん。今は村での子どもや妊婦の健康や栄養について改善したいと思っており、日本での研修をととても楽しみにしています。

「平和と健康を担う人づくり」に皆さんのご参加を

会員として

活動を続ける土台となります。会員は3種類。年3回の会報、行事のご案内をお届けします。

PHD 終身維持会員	1口	10万円（任意の口数）
PHD 会員	年額1口	5千円（任意の口数）
PHD 友の会会員	年額	千円以上（任意の額）

◆振込先

郵便振替口座：公益財団法人PHD協会
01110-6-29688

当会へのご寄附は税の優遇措置対象となります

当会へのご寄附は、税額控除もしくは所得控除の適応を受けることができます。

＜例えば20,000円の寄附をして、確定申告をすると＞

◆税額控除の場合

(20,000円 - 2,000円) × 40% = 7,200円*¹が還付されます。

*¹ 所得税額の25%に相当する金額を限度とします。

◆所得控除の場合

20,000円*² - 2,000円 = 18,000円が所得金額から引かれます。

*² 所得金額の40%を限度とします。

(詳しくは国税庁のホームページをご覧ください)

集める

- ◆未使用の切手・ハガキ、書き損じハガキは郵送費に。
- ◆未使用・残数のあるテレホンカードは電話代に。
- ◆使用済切手・外貨コインは1,000円/kgで買い取っていただいたとき、活動費になります。

参加する

◆海外スタディツアー

帰国した研修生の村の訪ね、村の生活を体験。夏に、ネパール、ミャンマー等を訪問します。

◆事務所ボランティア

ホームページ更新、会報編集・発送、チラシ作成、収集物の分類、通訳、翻訳など。

◆国内研修生、インターン

国際協力、NGO/NPO、ボランティア活動を体験の中から学びます。国内研修生は、年度はじめに決定。インターンは年間を通じて受け入れます。

◆ボランティアグループ「ソディ」

タイ・カレンの布の織り手を応援するグループ「ソディ」。例会、バザーへの出店、新製品の考案などを行っています。

ご相談・出張講演お受けします(NGO相談員)

外務省の委嘱により、国際協力やNGOに関するご質問・ご相談にお答えさせていただきます。また、国際協力イベントでの相談業務、セミナーや学校の授業での講演など「出張サービス」も実施しています。

買う、販売する

研修生たちの村で作られた、タイ・カレンの手織布とネパールの毛糸製品が毎年届きます。事務所で求めいただけるほか、お送りもいたします。販売できるイベントがありましたら、是非お声掛けください。また、学校や地域の行事での委託販売もお願いしています。

ランチョンマット、マフラー、
ポーチ、バッグなど
¥200から



帽子、靴下、セーターなど
¥1000から

支えてください、研修生の1年

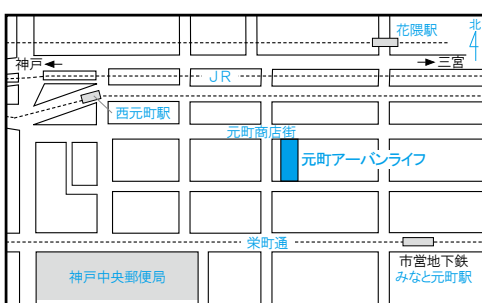
神戸を拠点に各地で学びます。

- ◆日本語復習ボランティア 4月、5月
- ◆ホームステイ 年間
- ◆研修指導（農業・保健衛生・洋裁など）6月～
- ◆交流会（学校・幼稚園など）6月～
- ◆日本の社会を学ぶ 11月～

◆研修生の日々を綴ったブログ更新中

32期研修生の現在の様子を中心に、時折過去の研修生の様子もUPしています。ぜひご覧ください。

<http://ameblo.jp/phd-kobe/>



事務所は元町商店街の5丁目。お気軽にお立ち寄りください。

公益財団法人 PHD 協会

月～土 9:00～18:00 / 日・祝休み

〒650-0022 神戸市中央区元町通 5-4-3

元町アーバンライフ 202

TEL 078-351-4892 FAX 078-351-4867

Email info@phd-kobe.org <http://www.phd-kobe.org>